平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名　株式会社 アムスク　　上場取引所　大
コード番号　7468　URL　http://www.amsc.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 栗原　新太郎
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長　(氏名) 平井　和明　TEL 0422-54-0006
四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　有　(機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,219	△22.3	105	△51.5	85	△58.0	62	△59.8
23年3月期第2四半期	11,862	56.6	216	—	203	—	155	—

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　5百万円　(△93.4%)　23年3月期第2四半期　82百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	13.06	—
23年3月期第2四半期	32.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	8,602	4,137	48.1	865.73
23年3月期	8,505	4,145	48.7	867.59

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　4,137百万円　23年3月期　4,145百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	3.00	8.00
24年3月期	—	0.00			
24年3月期(予想)			—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,200	△14.7	220	△34.8	145	△50.6	120	△48.0	25.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　有
通期業績予想の売上高を修正しました。詳細は【添付資料】3P「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	5,158,230 株	23年3月期	5,158,230 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	379,482 株	23年3月期	379,482 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	4,778,748 株	23年3月期2Q	4,837,347 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．四半期連結財務諸表等 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響がいまだ残る中、復旧・復興への努力によって景気は緩やかながら回復へ向う一方、原発事故の収束、復興財源、ＴＰＰ等の山積する諸問題に起因する懸念・不安、加えて、欧州の金融危機や米国経済の低迷、そして、史上稀に見る円高の進行は、輸出産業を中心として多くの企業にダメージを与えており、先行きの不透明感は依然として拭えない状況となっております。

半導体及び半導体関連電子機器市場については、震災による生産能力低下あるいは部品不足等によるサプライチェーンの寸断からの回復、環境・エコロジー関連商品あるいはスマートフォン等に代表される新しいアプリケーションの台頭など、明るい兆しが見え、市場全体としては緩やかな伸長が予想されるものの、前述の経済不安や円高の影響等は深刻であり、また、生き残りを懸けた業界再編・再構築の活発な動きの中で、企業間の競争は一層激しく、厳しいものとなっています。

このような状況下、当社グループは、既存ビジネスの維持・深耕はもとより、ＬＥＤ照明、太陽光発電、スマートメーター等をはじめとする環境・エコロジー関連のアプリケーションの開拓に積極的に取り組むほか、新規商材の発掘・立ち上げに注力し、将来の柱となる新規ビジネスの獲得を大きな命題として活動してまいりました。しかしながら、一部の主要な民生ビジネスにおいて、生産調整による受注減が見られるなど、当社グループのビジネス環境は、引き続き厳しいものとなりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績については、売上高は92億19百万円（前年同期比22.3％減）、また、損益につきましては、営業利益1億5百万円（前年同期比51.5％減）、経常利益85百万円（前年同期比58.0％減）、四半期純利益62百万円（前年同期比59.8％減）となりました。

売上高をアプリケーション分野別に見ますと、民生分野は、デジカメ向けの需要回復があったものの、ゲーム機器等の生産調整による受注減少が大きく影響し、売上高が前年同期を下回りました。情報通信分野については、衛星放送用チューナー向け需要の一部終息等による影響を受け、また、車載分野については、東日本大震災の影響による生産調整が未だ継続していること等により、いずれも売上高が前年同期を下回りました。産業機器分野については、工業用センサー市場の好調はあるものの、売上高は前年同期をわずかに下回りました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末と比較し96百万円増加し、86億2百万円となりました。これは主として棚卸資産の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較し1億5百万円増加し、44億65百万円となりました。これは主として、短期借入金の増加によるものであります。

純資産は41億37百万円となり、自己資本比率は48.1％となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計期間末と比較して45百万円減少し、9億29百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益80百万円、仕入債務の増加等の収入はありましたが、売上債権、たな卸資産の増加等により、2億70百万円の支出となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却等により、19百万円の収入となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加等により、2億28百万円の収入となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の市場環境につきましては、欧米諸国の経済低迷、急激な円高進行、東南アジアでの洪水被害など懸念材料が山積しているほか、当社においては、一部の主要な民生ビジネスにおいて生産調整による受注減が今後も見込まれることなどから、ビジネス環境は非常に厳しくなるものと思われます。

つきましては、上述の第２四半期連結累計期間の業績、今後の環境変化を踏まえ、平成24年３月期の業績予想を次のとおり修正いたします。

通期連結業績といたしましては、売上高192億円、営業利益2億20百万円、経常利益1億45百万円、当期純利益1億20百万円を予定しております。

上述の理由により売上高は当初予想より減少しますが、収益率の高い既存及び新規ビジネスの獲得・拡大、販売管理費の節減等により利益は確保できる見込みであり、営業利益、経常利益及び当期純利益については、変更はありません。

２四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	975,308	929,386
受取手形及び売掛金	4,019,719	3,973,136
商品	2,768,410	3,002,474
その他	290,752	291,553
貸倒引当金	△3,094	△3,341
流動資産合計	8,051,095	8,193,209
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,684	1,684
その他（純額）	20,057	18,060
有形固定資産合計	21,742	19,745
無形固定資産		
ソフトウエア	39,726	26,789
その他	5,168	5,168
無形固定資産合計	44,895	31,958
投資その他の資産		
投資有価証券	111,746	83,330
敷金及び保証金	79,074	77,878
投資不動産（純額）	195,999	195,125
その他	2,349	2,215
貸倒引当金	△1,000	△775
投資その他の資産合計	388,170	357,775
固定資産合計	454,807	409,479
資産合計	8,505,903	8,602,688
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,234,801	1,203,816
短期借入金	2,630,895	2,795,665
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払法人税等	14,670	22,409
賞与引当金	77,986	78,253
その他	99,303	99,183
流動負債合計	4,117,656	4,259,327
固定負債		
長期借入金	210,000	180,000
負ののれん	17,411	13,929
その他	14,862	12,303
固定負債合計	242,273	206,232
負債合計	4,359,930	4,465,560

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,740	1,051,740
資本剰余金	1,439,295	1,439,295
利益剰余金	1,883,843	1,931,923
自己株式	△106,223	△106,223
株主資本合計	4,268,656	4,316,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,470	1,813
為替換算調整勘定	△127,153	△181,421
その他の包括利益累計額合計	△122,683	△179,607
純資産合計	4,145,972	4,137,128
負債純資産合計	8,505,903	8,602,688

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	11,862,453	9,219,785
売上原価	10,667,207	8,183,666
売上総利益	1,195,246	1,036,119
販売費及び一般管理費	978,374	930,830
営業利益	216,872	105,288
営業外収益		
受取利息	85	1,029
受取配当金	587	776
為替差益	4,295	－
投資不動産賃貸料	4,800	4,450
負ののれん償却額	3,482	3,482
受取保険料	－	2,971
その他	3,996	946
営業外収益合計	17,247	13,654
営業外費用		
支払利息	25,774	26,056
為替差損	－	1,875
その他	5,026	5,582
営業外費用合計	30,801	33,515
経常利益	203,318	85,428
特別利益		
投資有価証券売却益	－	18,000
特別利益合計	－	18,000
特別損失		
投資有価証券評価損	－	23,294
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,477	－
特別損失合計	7,477	23,294
税金等調整前四半期純利益	195,840	80,133
法人税、住民税及び事業税	30,352	18,124
法人税等調整額	10,277	△406
法人税等合計	40,629	17,717
少数株主損益調整前四半期純利益	155,210	62,415
四半期純利益	155,210	62,415

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	155,210	62,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,725	△2,656
為替換算調整勘定	△67,786	△54,268
その他の包括利益合計	△72,512	△56,924
四半期包括利益	82,698	5,491
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,698	5,491
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	195,840	80,133
減価償却費	49,317	18,005
負ののれん償却額	△3,482	△3,482
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,548	21
賞与引当金の増減額（△は減少）	18,434	267
受取利息及び受取配当金	△672	△1,805
支払利息	25,774	26,056
為替差損益（△は益）	△44,480	△24,468
投資有価証券評価損益（△は益）	－	23,294
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△18,000
売上債権の増減額（△は増加）	△1,532,478	△82,554
たな卸資産の増減額（△は増加）	△463,515	△318,857
未収入金の増減額（△は増加）	△66,843	△10,838
預り金の増減額（△は減少）	△1,444	1,098
仕入債務の増減額（△は減少）	738,728	75,067
未払金の増減額（△は減少）	10,824	5,541
その他	8,443	△7,829
小計	△1,064,005	△238,347
利息及び配当金の受取額	672	1,805
利息の支払額	△24,863	△25,874
法人税等の支払額	△6,056	△8,390
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,094,252	△270,806
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,535	△84
無形固定資産の取得による支出	△8,334	1
投資有価証券の取得による支出	△2,845	△3,358
投資有価証券の売却による収入	－	22,000
その他	1,027	1,228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,687	19,787
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,249,562	273,165
長期借入金の返済による支出	－	△30,000
自己株式の取得による支出	△19,857	－
配当金の支払額	△5,052	△14,469
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,224,652	228,696
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26,702	△23,598
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	86,008	△45,921
現金及び現金同等物の期首残高	751,541	975,308
現金及び現金同等物の四半期末残高	837,550	929,386

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。